

(別添 4)

【北中城村】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1 人 1 台端末とクラウドツールの利用により、学習支援ソフトや学習 e ポータルを活用し、児童生徒の特性や学習到達度に応じた学習機会の提供や児童生徒自身が最適な学習を調整するための支援を行い、「個別最適な学び」の実現を目指す。

また、他者との協働作業を通じて、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」の実現を目指す。その際に一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログかといった「二項対立」に陥らないことに留意しつつ、教育 DX を推進する。

2. GIGA 第 1 期の総括

GIGA 1 期においては、令和 2 年度に 1 人 1 台端末の整備及び全教室に無線 LAN 環境の整備を行った。また、学習支援ソフトやデジタルドリルを導入するとともに、ICT 支援員を配置し授業支援や端末サポート等をおこない、学習支援ツールが効果的に活用できるように整備してきました。しかし、教職員の ICT 活用指導力における個人差が解消できていないため、引き続き校内研修等を定期的実施する。

GIGA 2 期においては、Google のダッシュボード機能等を利用し、データの利活用を進める計画である。また、ネットワーク環境においては、時間帯により繋がらない、接続が途切れる等の事象があったが、今後は回線増強をおこない改善していく予定である。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

校内研修の積極的な実施と活用により、ICT 研修を受講する教員の数を増やし ICT 活用指導力を身につけ、1 人 1 台端末を文房具として毎日使う環境の構築を目指す。また、授業において児童生徒が自ら調べ、考えをまとめて発表する場面を設定することや、教職員と児童生徒、児童生徒同士がクラウドツールを活用してやり取りできる環境を整備する。さらに、オンライン授業の実施等一人一台端末を活用することにより学びの幅を広げ様々な状況の児童生徒に学習機会を保障する。端末の整備更新により、上記のような児童生徒向けの 1 人 1 台端末の環境を引き続持する。